

市長所信

能登半島地震に係る支援状況について

徳島県は関西広域連合が決定した方針の下、輪島市を大阪府、大阪府および堺市とともに支援を行っています。

本市における、人的支援の状況は、避難所支援班として、第8陣で2人の職員を1月28日から2月2日まで、第14陣で職員2人を2月15日から2月21日まで派遣するとともに、保健師活動の12班として、2月10日から2月15日までの間、保健師1人を現地に派遣してきました。

今後におきましても、関西広域連合の構成団体である徳島県等と連携し、被災地のニーズ等に合わせた人的支援ができるよう準備を整えてまいります。

次に支援物資につきましては、現在、徳島県の現地連絡員からの情報等をもとに県を通じて支援することとなっております。本市では、提供可能な資材として、アルファ米、ペットボ

トル入り飲料水、粉ミルク、生理用品、ブルーシートや段ボールベッドなどを県に報告しているところであり、要請があれば速やかに搬出できる態勢を整えています。

また、本年1月5日からは、能登半島地震災害義援金の募金箱を市役所に設置しており、2月16日時点で122万5996円が集まり、日本赤十字社徳島県支部へ送金しました。ご協力いただきました皆さまに心からお礼申し上げますとともに、引き続き市民の皆さまにご支援いただけますよう、呼びかけてまいりますので、皆さまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

子育て日本一をめざす取組について

婚活応援事業は、結婚に伴う新生活の経済的負担を軽減するため、住居費や引越費用を支援することにより、結婚に躊躇している若い世代の背中を後押しして婚姻数の増加を図

とが有利であると判断し、事業を進めることとしています。

工事内容につきましては、県道の迂回ができるような仮締切堤防を施工した後、新設する樋門本体や接続する導水路の工事を行います。また、その後においては既設樋門撤去工事を行う大規模な事業となることから、現在の予定では3年程度の工事期間を見込んでいます。

この工事によりまして、既に工事が完成しています。那賀川河川事務所が辰巳工業団地で行いました地震津波対策との連続性が確保され、近い将来発生すると想定される南海トラフ巨大地震と発生頻度の高い津波（L1津波）とともに、計画規模の洪水や高潮に対しても地域の安全を確保するものです。

ひとに優しいまちづくりについて

高齢者へのバス券の交付に関する事業は、昨年度からバス券の交付枚数の上限をなくした「バスフリー乗車券」を交付しており、その結果、令和4年度のバス券申請率が7・3%であったのに対し、今月16日時点における申請率は、8・1%となっております。本市の地域公共交通計画の基本方針「誰もが参画・協同し」乗って残す」公共交通」に基づき、「バ

市議会令和6年3月定例会が、2月28日から3月25日までの27日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、岩佐市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

り、ひいては少子化対策の強化につなげてまいりたいと考えています。

本事業を始めとする結婚や子育て支援事業を精力的に実施することにより、人口減少ペースの鈍化を試み、本市の持続的発展や地域社会の安定が図られるよう取り組んでまいります。

次に、本市の出産祝金につきましては、市の窓口に出産届提出の際に併せて申請をいただき、祝金をお渡ししてまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに、非対面、非接触での生活様式を可能とするデジタルを活用した窓口業務の対応を求められてきたことから、市公式LINEと連携した各種「行政手続きのオンライン化」や窓口における「キャッシュレス対応セルフレジ」の導入など、デジタル技術を活用し、市民の皆さまの利便性の向上に努めてきたところです。

また、現在、国では、市町村へ提出する出生届および出生証明書について、マイナンバーカードの個人向けサイト「マイナポータル」を活用

したオンライン提出を可能とする仕組みづくりを進めています。

こうしたことを踏まえ、現金給付であった出産祝金を令和6年度からデジタルを活用した給付方法に変更し、既に子育て施策として開始している、在宅育児デジタルギフトと合わせて、子育てを一体的に応援する「子どもの未来応援デジタルギフト事業」として実施していくことで、市民サービスのさらなる向上と窓口業務の負担軽減につながっていくことが期待できます。

今後は、給付方法の変更について、市の広報、ホームページおよび公式LINE等による周知を図るとともに、窓口におきましても丁寧な説明に努めてまいります。

次に、不妊症の治療を受けた夫婦に対して、経済的負担を軽減するため、不妊治療費の一部助成を行うこととしました。具体的には、本年4月以降に「一般不妊治療」および「生殖補助医療」を受けた夫婦に対して、5万円を上限に助成します。本市では、令和4年4月から、不

要な内容を整理してまいります。

スポーツで元気なまちづくりについて

学校グラウンドは地域のスポーツ振興に欠かせないスポーツインフラの一つです。その照明設備は老朽化や水銀球の生産終了、施設間の機能の不均等などがあり、これらの課題を解決すべく、照明設備のLED化を迅速に進めてまいりたいと考え、「阿南市立学校グラウンド照明設備LED化計画」を策定しました。

本計画は、老朽化したコンクリート柱の更新により、児童、生徒および利用者の安全を確保しつつ、施設機能の標準化を行い、どの施設も使いやすくなることを目的とし、利用可能設備の再利用と、適切な防球ネットの更新を同時に行うことで、より効率的にLED化を進めてまいります。

本年度実施した大野小学校照明設備LED化工事をモデルとして、来年度は、宝田小学校および今津小学校の照明設備LED化工事を実施したいと考えています。

また今後、本計画の実施により、学校グラウンドの利用環境を安全・安心でより快適なものにし、阿南市総合計画に掲げる「生涯スポーツによるいきいきと暮らせるまちづくり」を実現します。

災害に強い安全で安心なまちづくりについて

被災後の生活再建等の各種支援が罹災証明書の発行から始まることを踏まえ、被災住家等の調査をモバイル端末により行うことで、罹災証明書の発行が迅速に行え、調査結果を反映した被災者台帳を管理することができ、「被災者生活再建支援システム」を導入し、これまで業務の流れを阻害していた各課題を解決しながら、速やかな生活再建支援を実現してまいります。

次に、辰巳工業団地北側の那賀川堤防に、平成7年に設置された「辰巳那賀川樋門」は、耐震性が満足できていないことから、各関係機関との協議により、今ある樋門の西側に耐震性能を有し、水の流入を自動で防ぐ構造の樋門を新たに設置するこ

阿南中央図書館（仮称）の整備について

新しい図書館の建設は、市民の皆さまから多数のご要望をいただいているところであり、早期の完成に向けて着実な取組が必要であると考えています。

このことから、図書館建築を専門とされている愛知工業大学の中井孝幸教授をお招きし、他の自治体で活発に利用されている図書館の状況などについてのご講演をしていただきました。この研修には多くの職員が出席し、また議員の皆さまのご参加もいただき、新しい図書館の姿をともに考えていく有意義な機会となりました。

来年度は、新図書館のあり方と複合する機能の具体的な整備方針を検討し、その整備に当たつてどのような手法を選ぶことが本市のめざす図書館の実現に効果的であるかを検討する調査を実施して、基本設計に必

